

日本多施設共同コホート研究(J-MICC study)京都フィールドに参加協力くださった方へ

本学では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	地域集団の食事記録からのAGEs摂取量と尿中ペントシジンによる骨粗鬆症リスク
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学医学部 医学部長 笠井謙次
研究責任者	(所属) 公衆衛生学講座 (職名) 講師 (氏名) 篠壁多恵
研究の対象となる方	2008～2013年に京都府立医科大学大学院において、J-MICC study 京都フィールドに参加協力くださった方。
研究期間	研究実施承認日 ～ 2028年3月31日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的]</p> <p>終末糖化産物(AGEs)は「たんぱく質と糖が過熱されてできた物質で、強い毒性を持ち、老化を進める原因物質とされています。近年、食事からのAGEs摂取量と体内貯留のAGEsの関連が明らかになってきています。また、AGEsの一種であるペントシジンは骨劣化を招き、骨の強さを損なうことが明らかになってきています。本研究では、ペントシジンを食事からの摂取量および尿中ペントシジン濃度と骨折リスクとの関連性を検討することを目的としています</p> <p>[利用方法]</p> <p>J-MICC Study 京都フィールドにご協力いただいた方々のベースライン調査、第二次調査及び第三次調査のデータからAGEs摂取量を食事記録から推定することと、AGEsの一種で骨質のマーカーである尿中ペントシジンの測定値と骨粗鬆症リスクおよびAGEsの関連性を検討します。</p> <p>[外部への試料・情報の提供]</p> <p>非該当</p> <p>[外部への提供開始日]</p> <p>非該当</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	<p>試料：非該当</p> <p>情報：J-MICC Study京都フィールドにおいて既に取得させていただきました性別、年齢、喫煙、飲酒、教育レベル、睡眠時間、既往歴、服薬状況、血液データ、身体活動量、食事調査による栄養素や食品の摂取量や状況、測定値(身長、体重、骨密度、腹囲、骨格筋・内臓脂肪量等)</p>
提供する試料・情報	至学館大学 健康科学部栄養科学科 教授 今枝奈保美

を用いる学外の研究 責任者	
試料・情報を利用する 学外の者	<p>至学館大学健康科学部栄養科学科 教授 今枝奈保美</p> <p>京都府立医科大学地域保健医療疫学 教授 高嶋直敬</p> <p>京都府立医科大学地域保健医療疫学 客員教授 兼 京都先端科学大学 特任教授 尾崎悦子</p> <p>愛知教育大学教育学部 准教授 渡邊美貴</p> <p>鹿児島大学医歯学域医学系 助教 指宿りえ</p>
試料・情報の利用又は 提供を希望しない 場合	<p>本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2027年3月31日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。</p>
外国への試料・情報の 提供	非該当
問い合わせ先	<p>愛知医科大学医学部 公衆衛生学講座</p> <p>担当者：(職名) 講師 (氏名) 篠壁多恵</p> <p>〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1</p> <p>電話 0561-62-3311 (内線 12389)</p>